

Lint er をね、使っていく

2017/10/30

早くももう tech_meetup 3回目ですね

その気になれば、2週で1ネタ上げれますよ

GitPitchみんな使ってくれて嬉しい

紹介した意味があったのかなと思っています。

本題

Lint er をね、使っていく

Lintってなに？

- 静的解析用ツール
 - 元々はC言語用
- 定義漏れや怪しい処理を発見できる
 - 動的型付け言語との相性が良い
- 特定の文法を検出できる
 - シングルクォーテーション必ず使うとか
 - そのままコーディングルールにできる

Lintorってなに？（番外編）

- Atom のパッケージ
 - 私が話したいのはLintの話
 - 今まで混同してました（よくないね）

対応言語は？

atom-lintっていうプラグインから

- Ruby
- JavaScript
- Python
- C, C++
- Shell

思ったよりも多彩

- 書き方の統一ができるのが大きい？
- コンパイルや実行しなくても検出できること = バグの早期発見

ESLint

- JavaScript用のLintツール
- npmで入れられて、VSCodeにもプラグインがあり、導入しやすい
- `eslint index.js` のように使える
 - (多分gulpとかで一気に入るフォルダ配下のJavaScriptファイルを全部Lintかけるとかできると思う)

ルールの記述

- そもそもテンプレートを初期化時に作ってくれる
- カスタマイズしたいときは自分で書く必要がある
 - 例)使用してない変数を検出しない
 - 例)if文のあと1行の場合は波括弧なしを検出しない

プラグインの活用

- ライブラリの関数が未定義だとうるさい
 - jQueryとか、GASのライブラリとか
 - プラグインを導入することで解決できる
 - 主要なものは大体カバーされているはず
 - （なかったら作って公開しよう）

ここまで使っていく話

- 結構便利だと思う
 - コンパイラ以下のチェックだけでも十分
 - 人間ベースでなく、システムベースのコーディングルール

中身の話

RuboCop(RubyのLintツール) の話を少し聞いてきたので、その話を

参考資料 : <https://speakerdeck.com/pocke/writing-lint-for-ruby>

ざっくり・・・

この辺ちゃんとやるとむずかしい

- 抽象構文木(AST) に変換
- ノード情報を読み出す
- 受け取ったノード情報に対して処理をかけてやる
- 問題があれば、ノード情報を利用してエラーメッセージを表示

今回はここまで

次回話すとしたら、gulpがいいなと思っています。